

1: 一年生から始まったパフォーマンス。夏らしく涼しげな衣装で初めての佐高祭。照れながらも元気に踊りました。2: 1年生は緊張気味な生徒が多い中、審査員を前に全力で楽しんで踊る姿も見られました。



第 65 回佐高祭
Share With
7月19日～20日



3: 3年生は和を取り入れた衣装と踊りで賞録がありました。4: 同じく3年生。衣装は2通り、和から一転、きらびやかに。5: 2年生はフレッシュさと経験を合わせてとても元気! 踊りは始める時もみんなで準備OK!! 6: 生徒たちの笑顔だけでなく、真剣に頑張る顔もまた、ステキに輝いています。

高校生や中学生をはじめ、毎年多くのボランティアの皆さんに支えられ、大会が運営されています。ランナーからの「ありがとう」に参加者とボランティアの交流も大会の魅力の一つだと感じられます。



Town Topicks

まちの話題



今年のエントリー総数は、4,158人。佐呂間町からは27人がエントリーし、100km、50kmあわせて、10人が完走しました。天候にも恵まれ、暑すぎるほどの気温の中、ランナーたちは景色を楽しみながらゴールを目指して頑張っていました。

サロマ湖 100 km ウルトラマラソン

6月29日



7月11日から13日にかけて、第33回インターナショナルオホーツクサイクリング2014が開催されました。この大会は、順位を競うのではなく、オホーツク海沿岸の風景や参加者同士の交流を楽しみながら完走することを目的としています。今年は212km、41kmコース合わせて850人が参加しました。佐呂間町には、12日の午後3時ごろに入り、キムアネツ岬のチェックポイントで一休み。ジュースやバナナを口にした後、再び12日のゴール北見市常呂町を目指して走っていきまし



地域の現状を把握 高橋知事が訪問



高橋はるみ北海道知事が、6月27日地域の現状を把握するため、佐呂間町の視察に訪れました。知事は、最初に若佐の竜巻慰霊碑を訪れ手をあわせた後、(株)トップファームを視察。本町を例に、地域の第一次産業について、井上社長、川根町長らと意見を交わされました。

社会貢献活動に感謝 高橋土建(株)



高橋土建(株)に社会貢献活動として、伊岐武士排水路(啓生～武士)の土砂上げを行っていただきました。この活動は、平成22年から実施していただいています。毎年、人力でしか作業が無理な場所があるため、場所をかえながら実施されています。大変ありがとうございました。